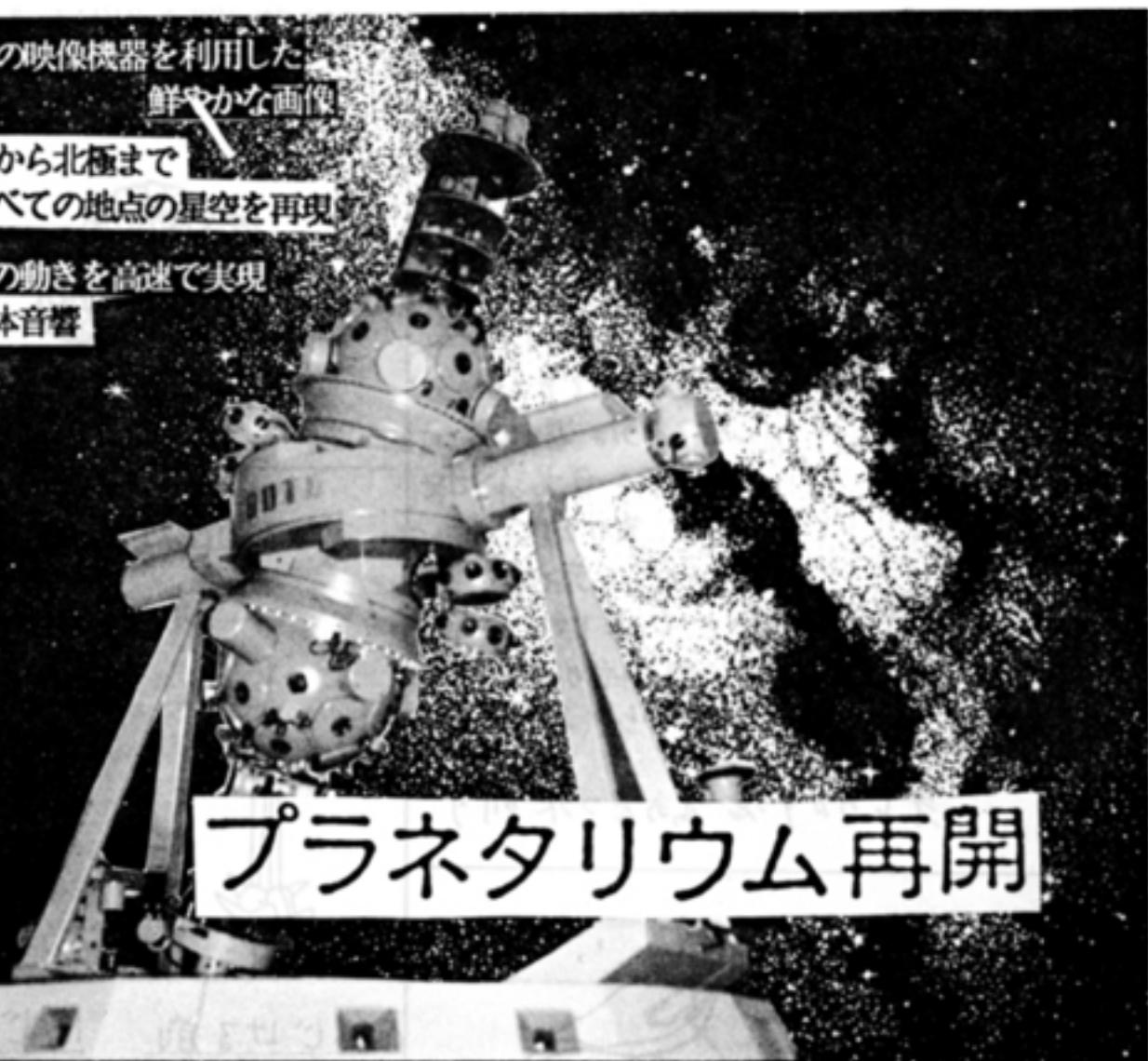


ひらくびつかい

HIRATSUKA CITY MUSEUM '89 4月号

コンピューターや最新の映像機器を利用した
鮮やかな画像
太陽系の全惑星の南極から北極まで
すべての地点の星空を再現
遠い過去や未来の星空の動きを高速で実現
映画館と同じ迫力の立体音響



プラネタリウム一般投影が再開されます

永らくプラネタリウム投影を休み、ごめいわく
をおかけしていましたが、きたる5月6日(土)
より、一般向け投影を再開いたします。

なお、再開にあたり、投影時間等に若干の変更
がありますので、ご注意ください。

・投影内容「四季の星座」

初夏の星座と、四季の星座のうつりかわりを、
新しい投影機の高速運動により、表現します。

・投影時間(開始時刻)

土曜日 午後2時

日曜日 午前11時・午後2時

観覧券の発売は朝9時からです。1人100円です。

・一般団体の予約(20人以上のグループ)

水、木曜日 午前10時・11時

土曜日 午前10時

希望される日の10日前までにお申し込みください。
くわしくは博物館管理係まで。

幼稚園・保育園向け投影の予約受付中

6月13日～7月8日の毎週火、水、木、土曜
日の午前中、幼児向けのプラネタリウム投影をし
ます。観覧の予約とお問い合わせは、博物館管理
係まで。

アオサギの日光浴

花水川にアオサギの入
今秋3回目の対面と
それほどドキドキしない
じっくり見ようと思った。
水の中に入ったアオサギ
立った。大きく羽ばたいて
アレ、飛んでしまうの
かわかすような仕ぐさを
たりとしている。
次にして動作には何
といつも尾の方にあり
大きな物でも、かがえ
なるような姿になった。
脇の下を日光浴でそ
その上、首の下までくう
クナパンを元こむけた
すい今長い間、その姿勢でじっとしていました。
始めてこの鳥を見たのは、麻溝台の御守水池
の陰の中で、最初としておみりかとを感じた
“身じろがず、蒼鶻のたつ水明り”

はじける前　はじけた後

藤山 道生

自然の新聞

Tel: 0463-33-5111 〒254 幸塙市城内町12-41

平塙市博物館
・土曜観察会
第31号 1989. Feb. 4

二月四日(土) 豊原菊子

今日家の近くの川でカモを見ました。しかも、もいました。

木の鉄砲撃ちゲンノショウコ

11月15日、探鳥クラブで箱根の仙石原に鳥を見に行きました。そして白いゲンノショウコの花を見つけた。1回見つけるとあちこちに、ちにも、花を見つけることができて、あれしがつたうちでおお見たらたねのぱじけた後の形からみこし草とも言うことがわかった。

木の木の鉄砲撃ちゲンノショウコ

はじける前　はじけた後

藤山 道生

▶ あみどにはちのす

あみどにはちのすがついていた。はちがたくさんあつまっていた。そここのへんのあみどはあけめきなからつくったのだ」とおもう。

10月14日
二年、川内里川二

かまきりは、えやせみつけた
ときじぶんをあおぐはねをひらげてじぶんをおおぐみます。

無料配給所のお知らせ

難民(鳥)の皆さんへ。食料が手に入らない方は、無料で配給致します。

場所など詳細は博物館までお問い合わせ下さい。S.S.

自然の新聞

野山の息吹き、いきいき情報、お届けします

土曜観察会

上のイラストは、博物館で出している“自然の新聞”から抜粋しました。微笑ましいカモの親子、日光浴するアオサギ。羽根をひろげ鏡をもたげておどすカマキリは、いきいきしてユーモラスで、冗談にでも「キャッ」とびっくりしてあげたくなります。巣を守る蜂たちの真剣なお目目を見れば勝手にこわしちゃいけないという思いが、胸に湧きます。書いたのは土曜観察会のメンバーです。2回野外観察をしたら、3回目にはまとめて、もう31号も出しました。自分の目で発見したこと、興味を持った事柄を書くせいか、皆さんいそいそ

とペンを走らせていました。

この形の新聞は、ソビエトの動物文学学者ビアンキが、1927年に著した“森の新聞”が原型なのだそうです。自然の中の出来事を、人間の世界の事件を伝える新聞記事にして本を書いたので、沢山の子ども達に愛読されました。この観察会のメンバーは、ビアンキみたいな書き手の側に立つたのですね。まず学芸員の浜口さんから、対象を良く見ること(観察)を学び、見落さないように“取材カード”を使って記録しています。いつ／なにが／どこで／なにをの4項目に、現状のスケ

ッチを加え、気付いたことをメモしておくのです。初めて野外に出た時は、子どもみたいにコレナアニばかりと話してくださった方がありました。他に向けて開かれるまなざしが持てなければ、コレナアニだって、なかなか言えないと思います。

ひらひらリボンの黄蝶や冠毛いたたく黄連雀は、次回32号に登場します。野山の息吹き、小さな仲間のいきいき情報を、皆に届けてあげたいな、と思って、この一文を書きました。自然の新聞は博物館受付カウンターにあります。(和田)

*** 行事案内 ***

4月

8	土	土曜観察会
12	水	"
16	日	自然観察会－大磯丘陵－
22	土	石仏を調べる会ガイダンス
23	日	相模川を歩く会ガイダンス

- ・寄贈品コーナー：新資料収蔵展（人文）
(4月2日～28日)
- ・みんなで調べよう平塚のカエル－産卵調査－

会員募集

●ナチュラリスト講座

毎回テーマをかえながら、湘南の動植物について、広く学んでゆく講座です。原則として、続けて参加する方の応募をお待ちします。

日：毎月第2土曜日 午後6時～8時
(年間9回)

第1回：5月13日(土)

「神奈川県のカエル」 丸山一子氏

申込み：4月末日までに往復ハガキで。

●平塚の戦災と空襲を記録する会

地域に残る戦災と空襲の資料を、体験者の聞き取り、戦災地図の作成等を通じて発掘しましょう。

日時：毎月1回の例会を実施。年間会員制。

場所：博物館特別研究室

募集人数：20名

申込み：往復ハガキで6月11まで。

○公募写真展

3月19日㈯から公募写真展が開かれています。この写真展は、応募作品の中から選ばれた優秀賞10点、入選17点を中心とした写真展です。優秀賞および入選された方々のお名前と作品をここに紹介いたします。

優秀賞

湯山 師英	3月の金目川－根みつば洗い－
内田 敏彦	秋の花水川
黒川 里子	春の日
鈴木 恒	コサギ
山口 敏雄	どんどん焼き
川崎テル子	相模湖
水澤 明子	台風接近
小松 良子	葉ぼたん出荷
山本 登	馬入川
武田 英夫	山伏の荒行

入選

湯山 師英	おじいちゃんとわらじ作り
大石 久江	山あいの日曜日
武田 秀夫	平塚の町と海、流鏑馬、漁一定地網－、秋葉の火祭り
内田 敏彦	レンゲの群生、西に発展する市街、「湘南潮来」のハゼ釣り
黒川 里子	光る海、老後のたのしみ
杉内 アイ	だるま作り、網たたみ
石澤ハマ子	相模川河口の夜明け
山口 高次	湘南潮来と若者たち、流鏑馬の神事
山本 登	早戸川マス釣り場

臨時休館のお知らせ

5月29日(月)から6月8日まで、全館の殺虫消毒のため、臨時に休館させていただきます。



HIRATSUKA CITY MUSEUM

平成元年度行事のご案内



平成元年の出版物

- ・博物館年報(12号)
- ・自然と文化(12号)
- ・ガイドブック(9号) 湘南の樹木
- ・資料シリーズ(36号)赤坂遺跡発掘調査報告
- ・特別展図録(仮称)ー湘南の野鳥ー
- ・特別展図録(仮称)ー平塚の寺院と仏像ー
- ・平塚市史 通史編ー古代・中世・近世ー
- ・新聞記事目録 第2集 大正元年~5年
- ・新聞記事目録 第3集 大正6年~



●特別展(特別展示室)

夏期特別展ー湘南の野鳥ー

(7月20日~8月30日)

秋期特別展ー(仮称)平塚の寺院と仏像ー

(10月11日~11月5日)

春期特別展ー相模川を歩くー

(3月17日~4月22日)

●企画展(寄贈品コーナー)

- ・新資料収蔵展(人文) 4月2日~4月28日
- ・" (自然) 5月2日~5月30日
- ・学童疎開展 6月9日~7月30日
- ・横穴墓展 8月1日~9月20日
- ・生物資料の展示 9月21日~10月29日
- ・サマー・セミナー展 11月1日~11月29日
- ・生態写真展 12月1日~1月14日
- ・縁釉陶器展 1月17日~2月27日
- ・はきもの展 3月1日~3月30日

●体験学習

申込み制

5月19・26日 草木で染めよう

6月4日 裏打ち

8月17~19日 土器作り

10月1日 巢箱作り

11月26日 紙すき

12月24日 おかざりを作ろう

2月3日 星座早見を作ろう

3月18日 拓本墨を作ろう

●その他

- ・サマー・セミナー 8月8日~10日申込み制
- ・夏休み自由研究相談会

7月25日・8月23日 参加自由

●講座・調査研究会

- ・古文書講読会(毎月第2・4土曜日) 会員制
- ・平塚の戦災と空襲を記録する会
(毎月1回日曜日) 会員制
- ・石仏を調べる会(毎月第2・4土曜日)会員制
- ・相模川を歩く会(毎月1回日曜日) 会員制
- ・ナチュラリスト講座(毎月第2土曜日夜) 会員制
- ・自然観察会
申込み制
4月16日 大磯丘陵
6月11日 大山モミ林
10月15日 鍋割山ブナ林
12月10日 葛葉川トラストの森
3月4日 真鶴クスノキ林
- ・土曜観察会ー自然の新聞作りー 会員制
(毎月2回土曜日の午後)
- ・みんなで調べよう
申込み制
平塚のカエル産卵調べ(3~4月)
高麗山のセミ抜け殻調べ(7~9月)
- ・星を見る会
参加自由
5月17日 月を見よう
8月10日 月と土星を見よう
8月16日 土星を見よう
11月22日 秋の星座
12月15日 星雲と星団を見よう
3月16日 木星を見よう
- ・天体観察会
会員制
5月27日 ガイダンス・星座を見る
6月17日 望遠鏡を使って
7月26日、27日星の明るさと空
8月中 宇宙科学研究所の見学
10月21日 暗い天体を探すには
11月18日 星雲・星団を見る
12月26日 スターウォッティング
1月中 天体写真を撮ろう(月光天文台)

●プラネタリウムの投影

- 5月6日~7月16日 四季の星座
- 7月22日~9月3日 はくちょう座物語
- 9月9日~11月5日 太陽・母なる星
- 11月11日~1月7日 北極星が変わる
- 1月13日~3月4日 木星にせまる
- 3月10日~ ニュートリノが知っている
- 6月13日~7月8日(幼児投影)
幼稚園・保育園向け番組
- 9月12日~ 市内小・中学校投影
学習投影

利用案内

●投影開始時刻(各10分前に開場します)

曜日	1回目	2回目
火曜日	学校専用	
水・木曜日	学校・団体専用	
土曜日	団体専用	14:00
日曜日	11:00	14:00
夏休み中等の 水木土曜日	11:00	14:00

- 観覧券 1人 100円 当日9時より発売
- 所要時間 1回 45分
- 定員 86人
- 団体利用 20人以上の団体につき団体専用日にご利用いただくことができます。10日前までにご予約下さい。くわしくは博物館管理係まで。
- 乳幼児の観覧はご遠慮下さい。
- 休館日 月曜日、祝祭日、年末、年始

平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

電話 0463(33)5111